



# 2025年9月期第1四半期決算 決算補足説明資料

2025年2月14日



## エグゼクティブサマリ

### 25/9期1Q 減収減益

新增改築案件の計上空白期が主因となり、対前年比41%減収、営業赤字計上。ただし、これは期初から想定の範囲内

### 25/9期 通期見通し

通期見通しは据置き。スロースタートとなるも、2Q以降は案件の計上が集中。2025/9期通期では68%営業増益へ

### 新增改築 案件

新增改築案件売上は前年比66%増の通期90億円を想定。当期は主に2Qと4Qに売上が集中する傾向

### 事業提携

機器修理業務、中古医療機器関連業務において、知見を有する企業と提携締結。提携により顧客の病院にメリットを提供



1

## 2025年9月期1Q決算実績



## 2025年9月期1Q経営成績①

- 1Q業績は対前年比41%減収、営業赤字計上。ただし、これは新增改築案件の売上計上がなかったことに拠るもの。期初からの見通しどおりであり、売上、各利益とも想定の範囲内と認識
- セグメント別には、主力のメディカルトータルソリューション事業が売上閑散期となった一方、遠隔画像診断サービスは顧客積上げが進み増収増益。給食事業では前期にあった一部顧客の契約終了の影響は残ったものの、価格改定進捗で減収減益幅は限定的に

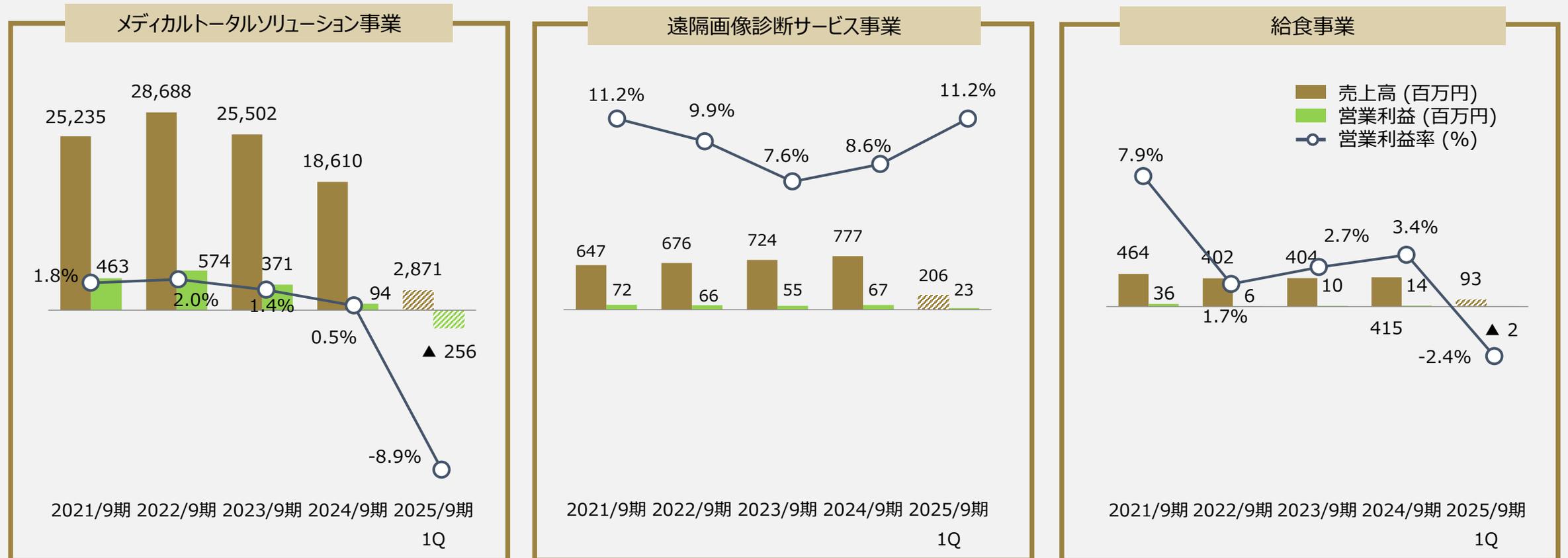
### 経営成績の推移

(百万円)	2023/9期 1Q実績	2024/9期 1Q実績	2025/9期1Q		2025/9期通期	
			実績	前年同期比 増減率	予想	進捗率
<b>売上高</b>	<b>4,936</b>	<b>5,413</b>	<b>3,171</b>	<b>▲41.4%</b>	<b>22,500</b>	<b>14.1%</b>
メディカルトータルソリューション	4,650	5,124	2,871	▲44.0%	21,309	13.5%
遠隔画像診断サービス	180	186	206	+10.7%	782	26.4%
給食	105	102	93	▲9.1%	408	22.8%
<b>営業利益</b>	<b>▲11</b>	<b>135</b>	<b>▲235</b>	—	<b>300</b>	—
メディカルトータルソリューション	▲34	117	▲256	—	232	—
遠隔画像診断サービス	20	15	23	+49.9%	65	35.2%
給食	1	2	▲2	—	0	—
調整	0	0	0	+2.1%	1	39.4%
<b>経常利益</b>	<b>▲10</b>	<b>136</b>	<b>▲234</b>	—	<b>300</b>	—
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>▲24</b>	<b>80</b>	<b>▲164</b>	—	<b>160</b>	—

## セグメント別業績推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上は、新增改築案件の空白期となり大幅減少。案件は2Q以降に集中の見通し
- 遠隔画像診断サービス事業は、利益率改善が継続。顧客増により増収効果が貢献し、利益率は高い水準に
- 給食事業は一部契約終了の影響は単価引上げでは吸収できず、1Q時点では営業赤字。

### 経営成績の推移





## 2025年9月期1Q経営成績②

- 1Qの売上実績は低水準ながら、狩猟型モデルである当社の四半期別業績は案件計上タイミングによる変動が大きく影響する。2Q以降の案件計上を考えれば、1Qが今期のボトムになる見込み
- なお、1Qの粗利率は11.1%と若干低下。しかし、好採算の新增改築案件計上がない中では高い水準。付加価値を高めることにより、利益率の上昇傾向は変わらないと認識

### 経営成績の推移

(百万円)	2023/9期				2024/9期				2025/9期
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q
売上高	4,936	6,725	5,012	9,957	5,414	6,803	3,496	4,090	3,171
メディカルトータルソリューション	4,650	6,444	4,733	9,674	5,124	6,509	3,189	3,787	2,871
遠隔画像診断サービス	180	181	178	184	186	185	200	205	206
給食	105	99	100	99	102	108	106	97	93
営業利益	▲11	274	74	102	135	221	▲120	▲59	▲235
メディカルトータルソリューション	▲34	253	58	94	117	200	▲147	▲76	▲256
遠隔画像診断サービス	20	18	11	6	15	15	21	15	23
給食	1	2	4	2	2	5	5	1	▲2
調整	0	0	1	0	0	0	0	0	0
粗利率	11.5%	12.7%	13.3%	7.3%	13.9%	12.3%	13.7%	13.5%	11.1%



## 粗利益率の推移

- 1Qは新增改築案件空白により一旦低下を余儀なくされたものの、全社ベースの粗利益率上昇トレンドに変化はなし。案件計上が予定される2Qは再び高水準の粗利益率を回復する見通し

全社粗利益率の推移

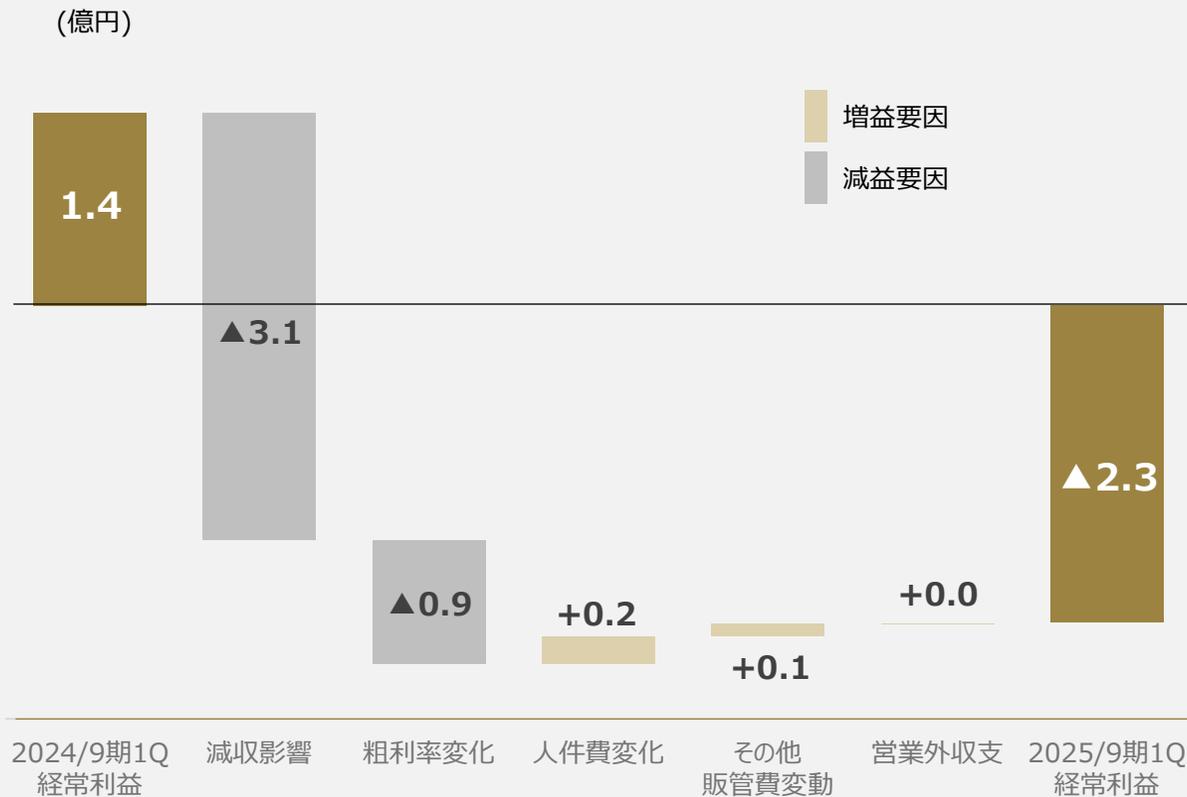




## 2025年9月期1Q 経常利益増減益要因分析

- 1Qの経常利益は対前年比3.7億円の減少。その主因は案件減少に伴う売上減。特に新增改築案件の売上空白が大きく影響
- 一方、コスト面は抑制的に推移。人件費やその他販管費は前年比減少により、下支え要因に。ただし、営業力強化に向けて人員増は必須との認識は変わらず、採用強化は今後の課題

### 経常利益増減益分析



- 減収影響 ▲3.1億円
  - ・1Qはメディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の売上空白期に該当
- 粗利率変化 ▲0.9億円
  - ・粗利率は2.8ポイント低下（13.9%→11.1%）
  - ・新增改築案件空白の影響から低下となるも、新增改築案件なしでのこの水準は、付加価値を高めるアプローチ浸透の成果
- 人件費変化 +0.2億円
- その他販管費変動 +0.1億円
- 営業外収支 +0.0億円

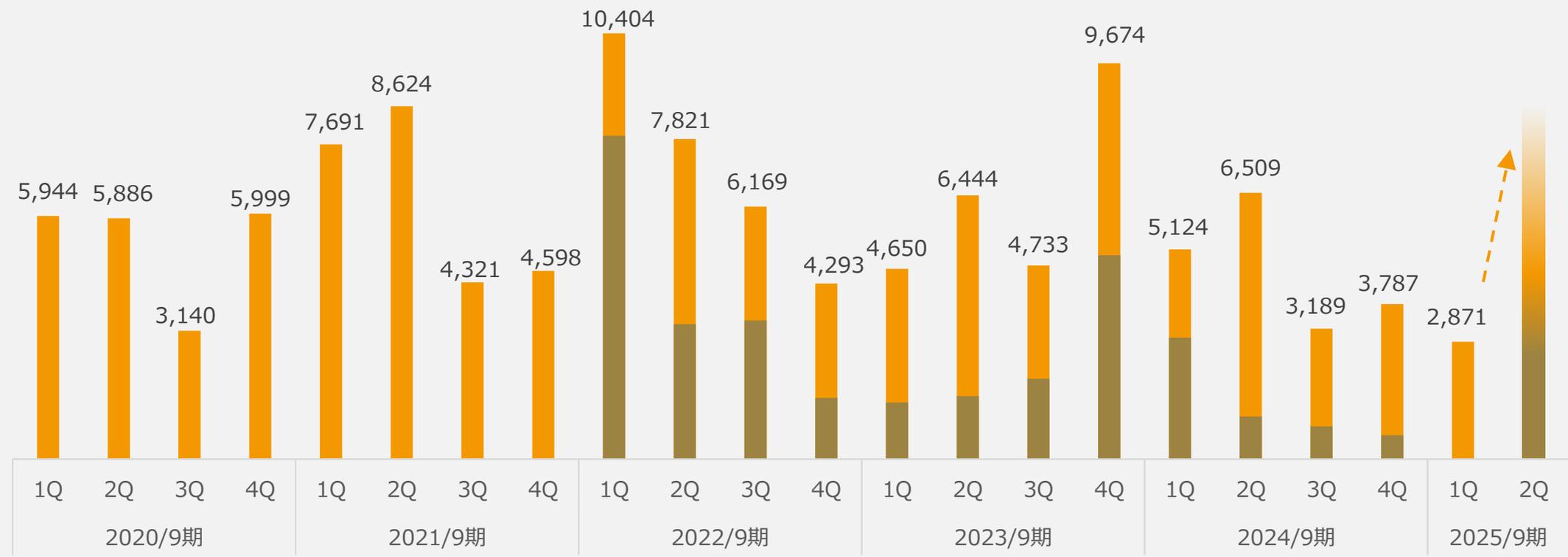


# メディカルトータルソリューション事業売上推移

- 主力のメディカルトータルソリューション事業の売上は、前年3Qより3四半期連続で低水準で推移。新增改築案件の売上計上が閑散期となっていたことがその要因
- ただし、2Qには大型物件を含む複数の新增改築案件の売上計上を予定

## メディカルトータルソリューション事業売上推移

(百万円)



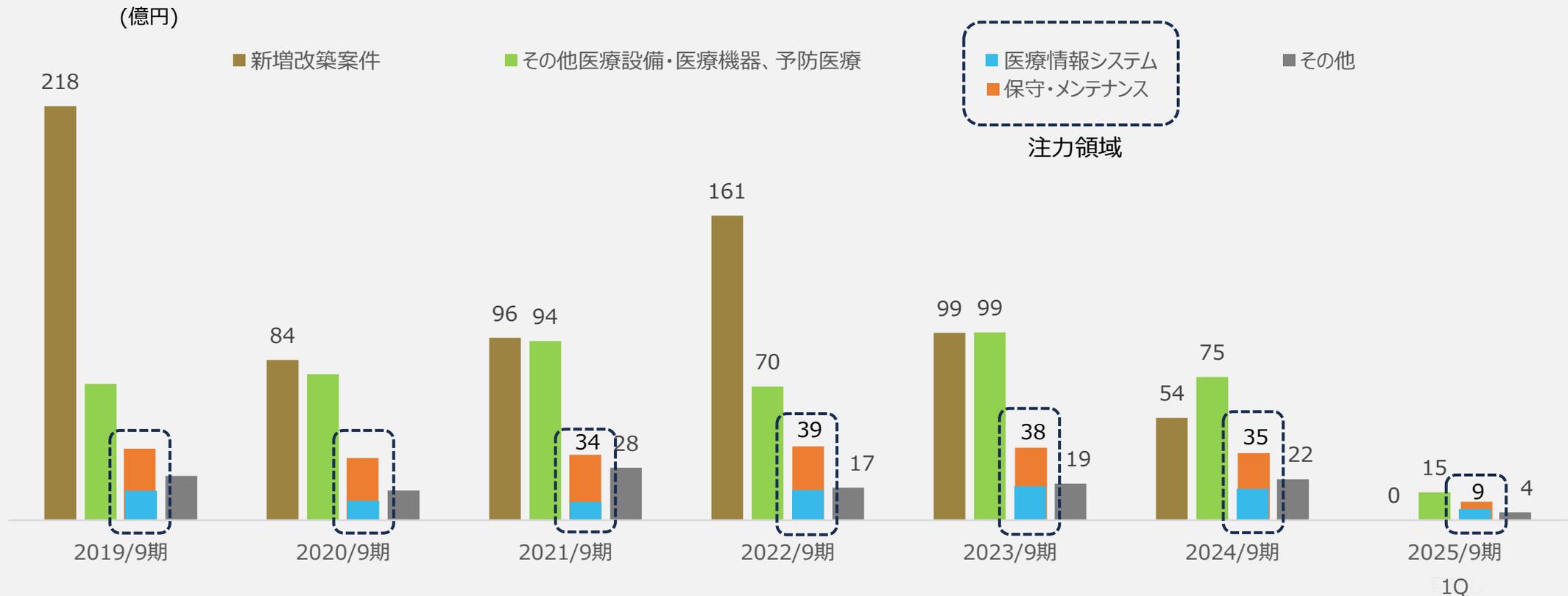
注) 2021/9期以前の新增改築案件売上は非開示



# メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- 1Qのメディカルトータルソリューション事業売上内訳は、**新增改築案件以外の医療機器/設備などがおよそ半分を占め、残りを情報システム/保守・メンテナンス、その他が占める**
- 1Q時点の注力領域売上は前年比74%の増加。引続き、拡大に向けて取組みに注力

## メディカルトータルソリューション事業売上内訳





## 2024年9月期 貸借対照表

- 前期末比で総資産は12%減の94億円。前期末に残っていた売掛金、買掛金の相殺解消が主因
- 総資産圧縮に伴い、自己資本比率は56.3%に上昇（前期末の自己資本比率は52.3%）。なお、期末時点のネットキャッシュは51億円

### 財政状態の推移

(百万円)	2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期 1Q	前期末比差異
<b>流動資産</b>	<b>12,232</b>	<b>13,508</b>	<b>9,583</b>	<b>8,234</b>	<b>▲1,349</b>
現預金	5,480	5,537	5,574	5,142	▲431
受取手形・売掛金/契約資産	4,360	7,796	3,821	2,887	▲933
棚卸資産	24	21	71	70	▲0
その他	2,368	153	118	134	+16
貸倒引当金	▲0	▲1	▲1	▲0	+0
<b>固定資産</b>	<b>1,235</b>	<b>1,185</b>	<b>1,076</b>	<b>1,196</b>	<b>+120</b>
<b>総資産</b>	<b>13,468</b>	<b>14,693</b>	<b>10,659</b>	<b>9,430</b>	<b>▲1,229</b>
<b>負債</b>	<b>7,930</b>	<b>8,969</b>	<b>4,918</b>	<b>3,950</b>	<b>▲968</b>
買掛金	3,960	7,620	3,417	2,587	▲830
有利子負債	92	2	9	9	▲0
その他	3,876	1,347	1,490	1,353	▲137
<b>純資産</b>	<b>5,537</b>	<b>5,724</b>	<b>5,741</b>	<b>5,480</b>	<b>▲260</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>13,468</b>	<b>14,693</b>	<b>10,659</b>	<b>9,430</b>	<b>▲1,229</b>



2

## 2025年9月期決算見通し



## 2025年9月期業績見通し

- 2025/9期通期見通しは据置き。1Qはスロースタートとなったものの、通期では前年比14%増収、68%営業増益との見通しを継続。3期ぶりの営業増益の見込み
- セグメント別には、主力のメディカルトータルソリューション事業が大型案件増を背景に改善。先行指標であるトータルパックシステムは2020/9期より受注件数増に転じている。一方、遠隔画像診断サービス・給食事業はコスト上昇を見込み、保守的に想定

### 経営成績の推移

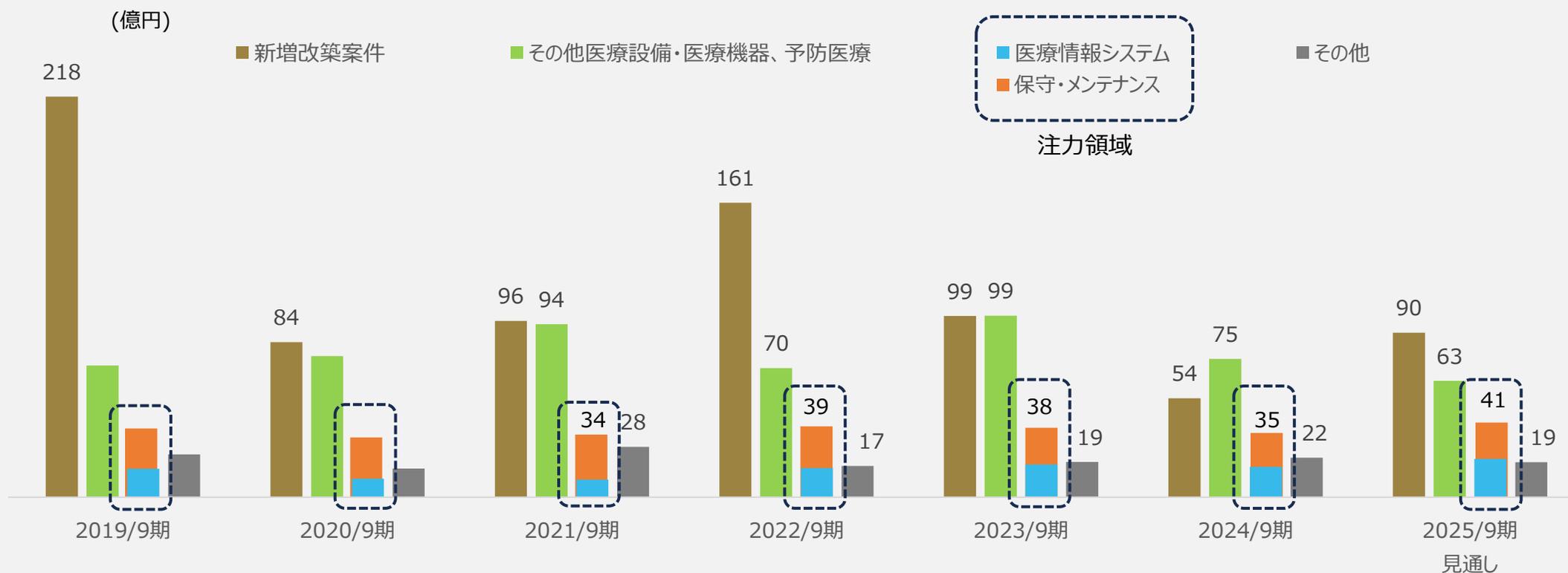
(百万円)	2022/9期 実績	2023/9期 実績	2024/9期 実績	2025/9期 見通し	比較	
					前年比 増減率	前年比 差異
<b>売上高</b>	<b>29,767</b>	<b>26,632</b>	<b>19,804</b>	<b>22,500</b>	<b>+13.6%</b>	<b>+2,695</b>
メディカルトータルソリューション	28,688	25,502	18,610	21,309	+14.5%	+2,698
遠隔画像診断サービス	676	724	777	782	+0.6%	+4
給食	402	404	415	408	▲1.8%	▲7
<b>営業利益</b>	<b>650</b>	<b>440</b>	<b>178</b>	<b>300</b>	<b>+68.4%</b>	<b>+121</b>
メディカルトータルソリューション	574	371	94	232	+145.6%	+137
遠隔画像診断サービス	66	55	66	65	▲1.8%	▲1
給食	6	10	14	0	▲97.0%	▲13
調整	2	2	2	1	▲34.3%	▲0
<b>経常利益</b>	<b>709</b>	<b>431</b>	<b>181</b>	<b>300</b>	<b>+65.6%</b>	<b>+118</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>437</b>	<b>271</b>	<b>136</b>	<b>160</b>	<b>+17.6%</b>	<b>+23</b>



## メディカルトータルソリューション事業 売上内訳推移

- メディカルトータルソリューション事業の売上内訳想定では、2Q以降に売上の集中する新增改築案件の売上が大幅に増加する見通し
- 注力領域である医療情報システム、保守・メンテナンスについては、一括保守の拡販や修理機能の拡充などの対応を継続

### メディカルトータルソリューション事業売上内訳



## 新增改築案件 予想前提

- 2025/9期の新增改築案件の売上想定は90億円。前期比では66%の増収となる見通し
- ただし、1Qの実績はゼロであり、2Q以降に集中して売上計上される見通し。これらは期初からの計画通り

### メディカルトータルソリューション事業における病院新增改築案件向け医療機器一括販売の推移

(百万円)		2022/9期	2023/9期	2024/9期	2025/9期		前期対比
					1Q実績	通期見通し	
20億円以上	売上高	9,877	2,296	2,942	0	6,080	+3,137
	件数	3	1	1	0	2	+1
	平均単価	3,292	2,296	2,942	-	3,040	+97
10億円以上	売上高	3,995	3,594	-	0	-	-
	件数	3	3	-	0	-	-
	平均単価	1,332	1,198	-	-	-	-
10億円未満	売上高	2,180	3,984	2,449	0	2,882	+433
	件数	6	13	10	0	11	+1
	平均単価	363	306	244	-	262	+17
合計	売上高	16,054	9,874	5,392	0	8,962	+3,570
	件数	12	17	11	0	13	+2
	平均単価	1,338	580	490	-	689	+199
事業売上に占める一括販売比率		56.0%	38.7%	29.0%	0.0%	42.1%	+13.1pt

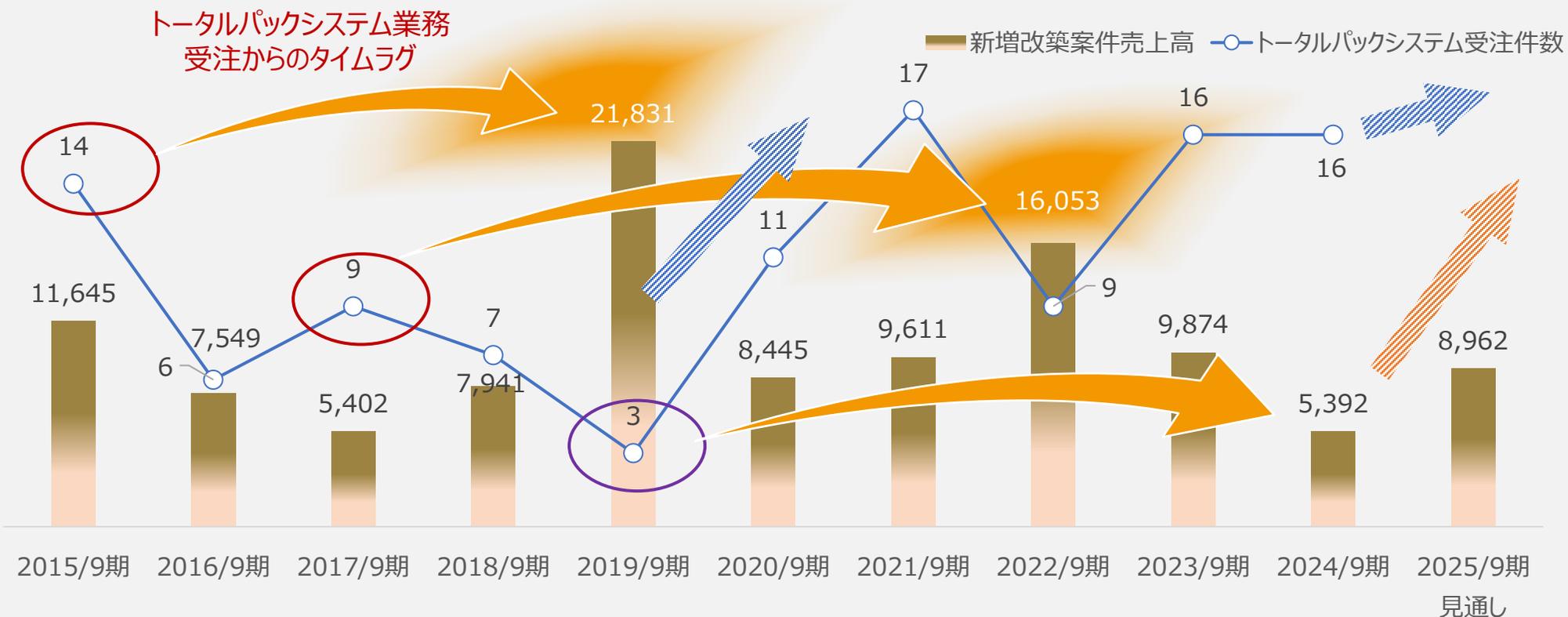


## 新增改築案件の先行指標

- トータルパックシステム受注は数期のタイムラグを経て新增改築案件売上に反映される傾向。この経験則によれば、2020/9期より受注件数が増加に転じていることから、新增改築案件の売上也、2025/9期以降は再拡大局面を迎えるとの見方が可能。
- 1Qのトータルパックシステム受注件数は10件。順調に積み上がっており、これらは将来の新增改築案件の売上に貢献してくる見通し

### メディカルトータルソリューション事業新增改築案件売上とトータルパックシステム受注件数との関係

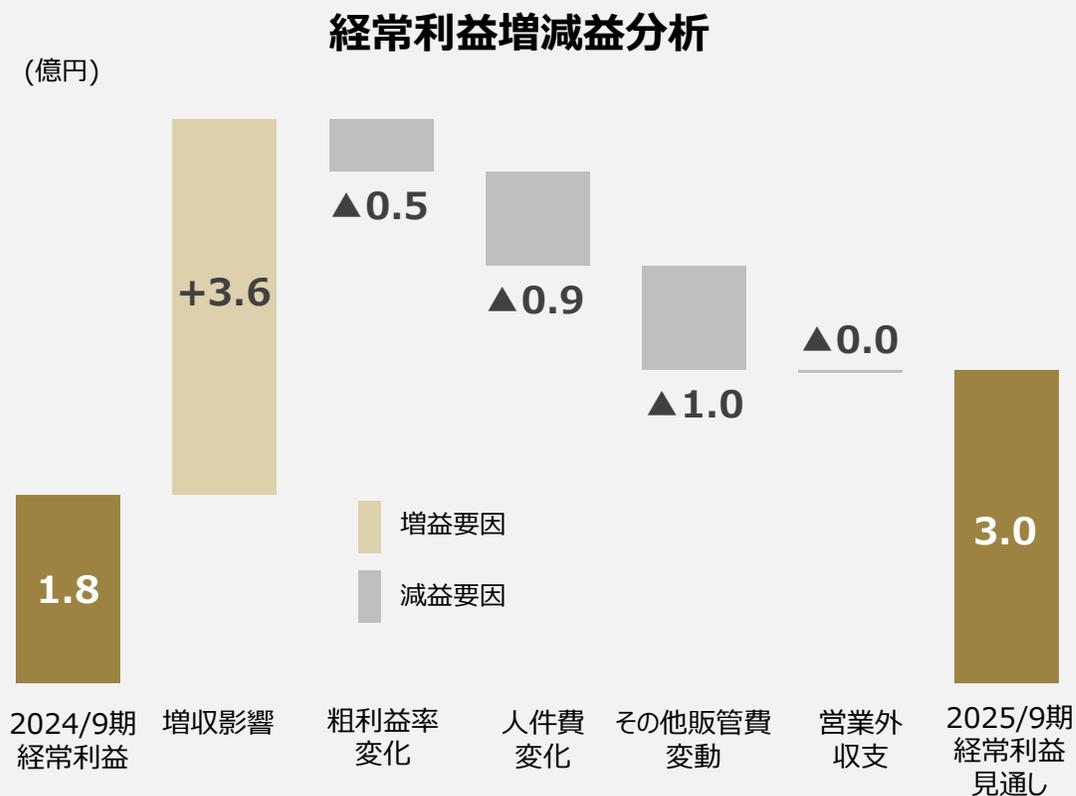
(百万円)





## 2025年9月期想定増減益分析

- 対前年比較大幅増益を牽引するのは増収効果。これにより、人件費増やその他コスト上昇などを吸収する見通し
- なお、想定粗利率は前期比若干低下となる13.0%。現時点で粗利率低下要因は見当たらないが、ここでは保守的な前提を採用
- リスクは厳しい経営環境を背景とした医療機関の投資姿勢

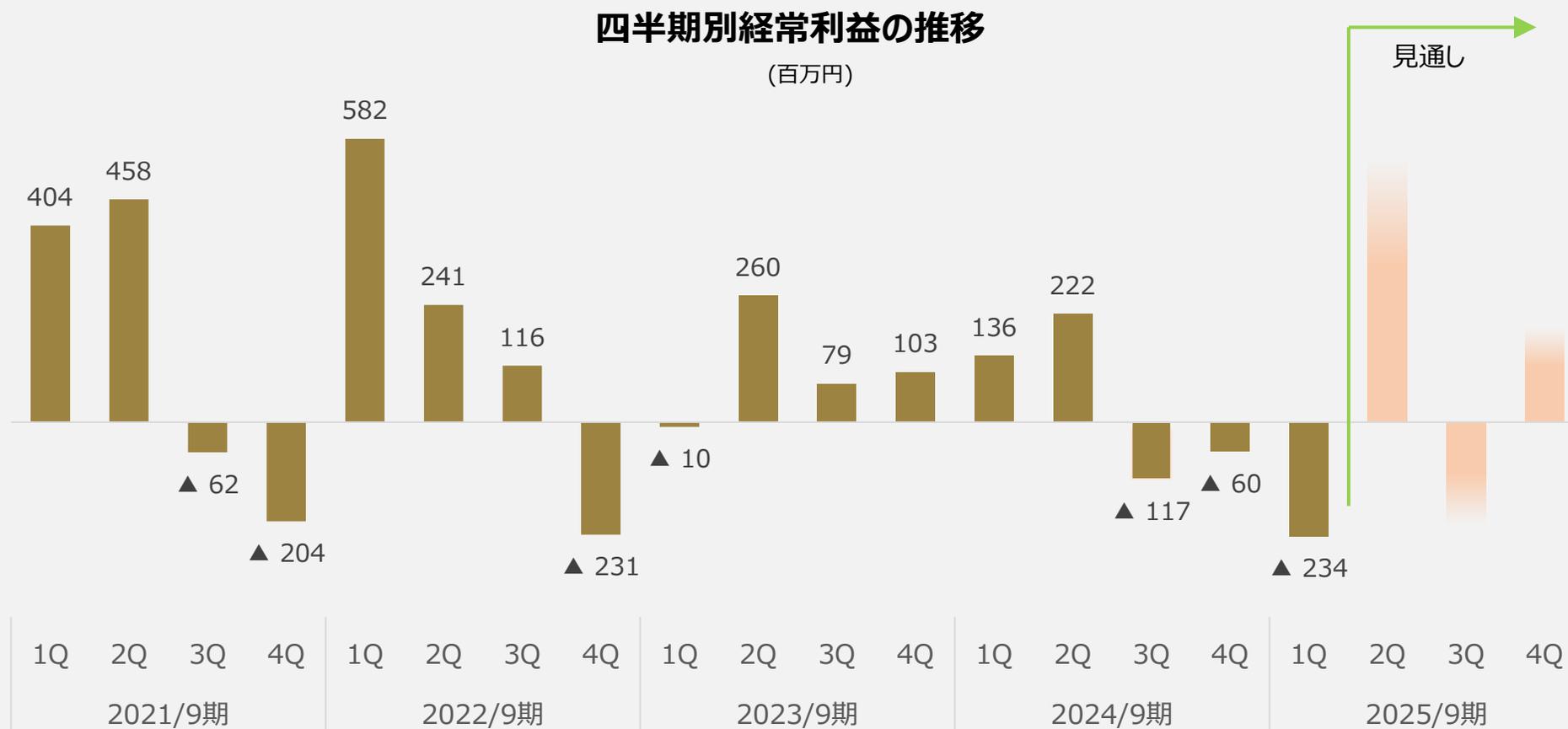


- 増収影響 +3.6億円
  - ・メディカルトータルソリューション事業における新增改築案件の増加
  - ・大型案件増により一件当たり単価上昇を想定
- 粗利率変化 ▲0.5億円
  - ・粗利率は0.1pt低下を想定 (13.1%→13.0%)
- 人件費変化 ▲0.9億円
- その他販管費変動 ▲1.0億円
- 営業外収支 ▲0.0億円



## 2025年9月期四半期別経常利益想定

- 2025/9期は四半期毎に変動が大きくなる想定。特に1Qは新增改築案件ゼロもあり、当期では最も厳しい四半期と認識
- 一方、2Qは新增改築案件の売上が集中し、当期で最も利益の大きい四半期となる見通し





3

## トピックス



# トピックス

- 1 機器修理業務で提携**
- 2 中古医療機器関連業務で提携**
- 3 更なる出資・業務提携の検討（アップデート）**
- 4 資本コストや株価を意識した経営（アップデート）**



## トピックス1：機器修理業務で提携

医療機器修理を手掛ける株式会社ミソノメディカルと資本業務提携に関する契約を締結  
(2025年2月14日発表)



提携目的：医療機器修理機能の拡充

提携効果：修理能力増による営業機会増  
注力する「一括保守」契約の積上げに貢献

提携内容：相互送客の実施  
第三者割当増資に応じて出資



所在地：三重県四日市市大字塩浜963-2  
会社設立：1972年11月  
業務内容：医療機器の修理・買取・販売



## トピックス2：中古医療機器関連業務で提携

中古医療機器の下取りを手掛ける株式会社アステッドと資本業務提携に関する契約を締結  
(2025年2月14日発表)



**提携目的：**中古医療機器の下取りルートを取込みを通じた営業機会の増大

**提携効果：**機器導入時に既存機器下取りを通じ病院側の投資負担を軽減  
当社注力の「一括保守」契約獲得のフックとして貢献

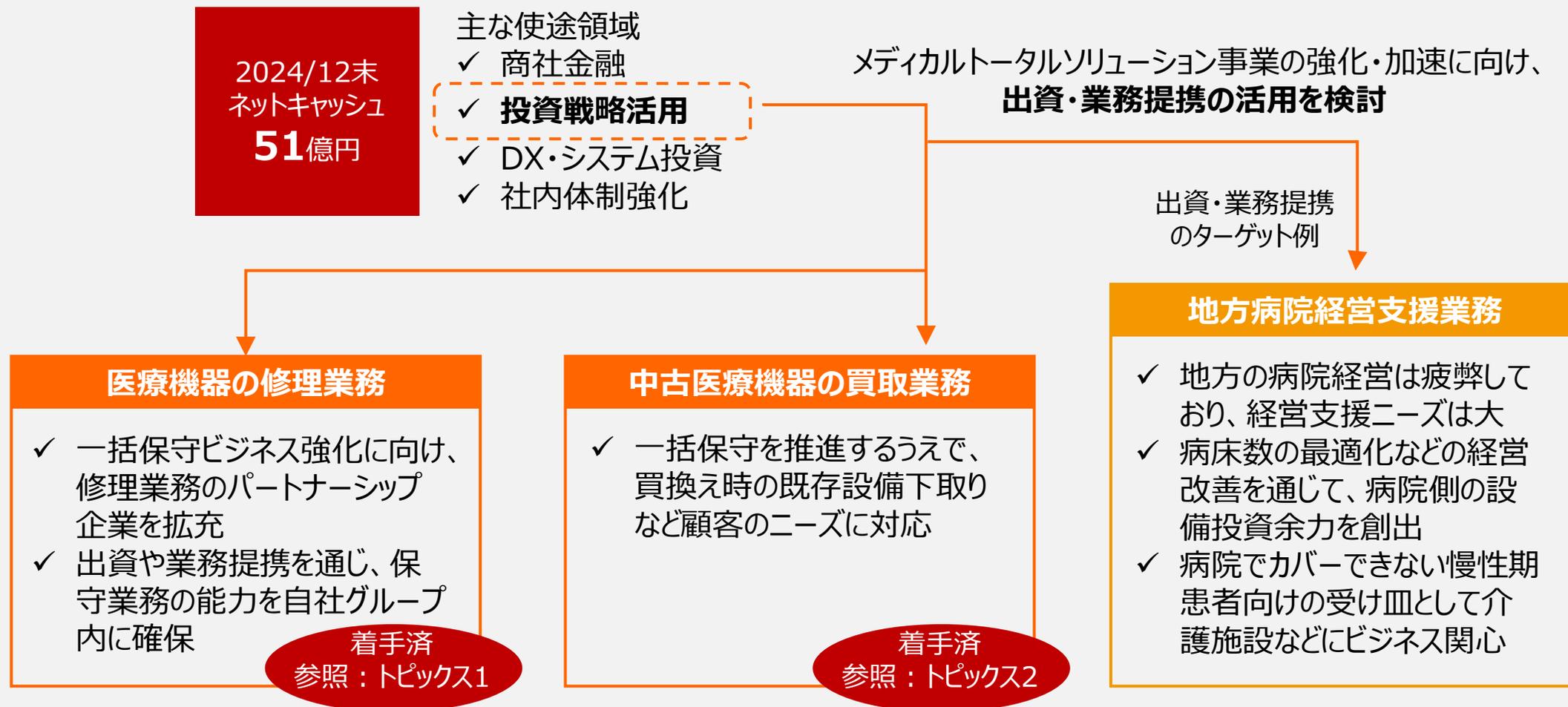
**提携内容：**相互送客の実施  
第三者割当増資に応じて出資



所在地：大阪府堺市中区陶器北1071-2  
会社設立：2012年7月  
業務内容：中古医療機器の買取・販売、  
X線防護工事、線量測定業務



## トピックス3：更なる出資・業務提携の検討

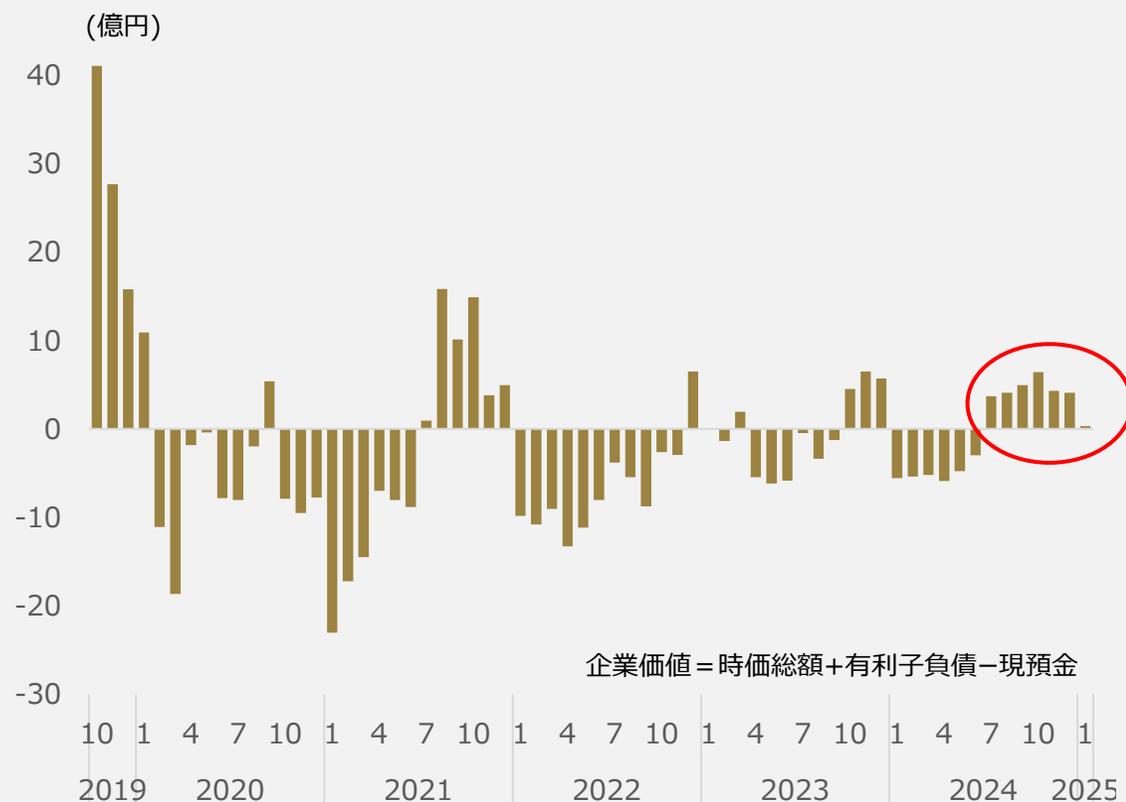




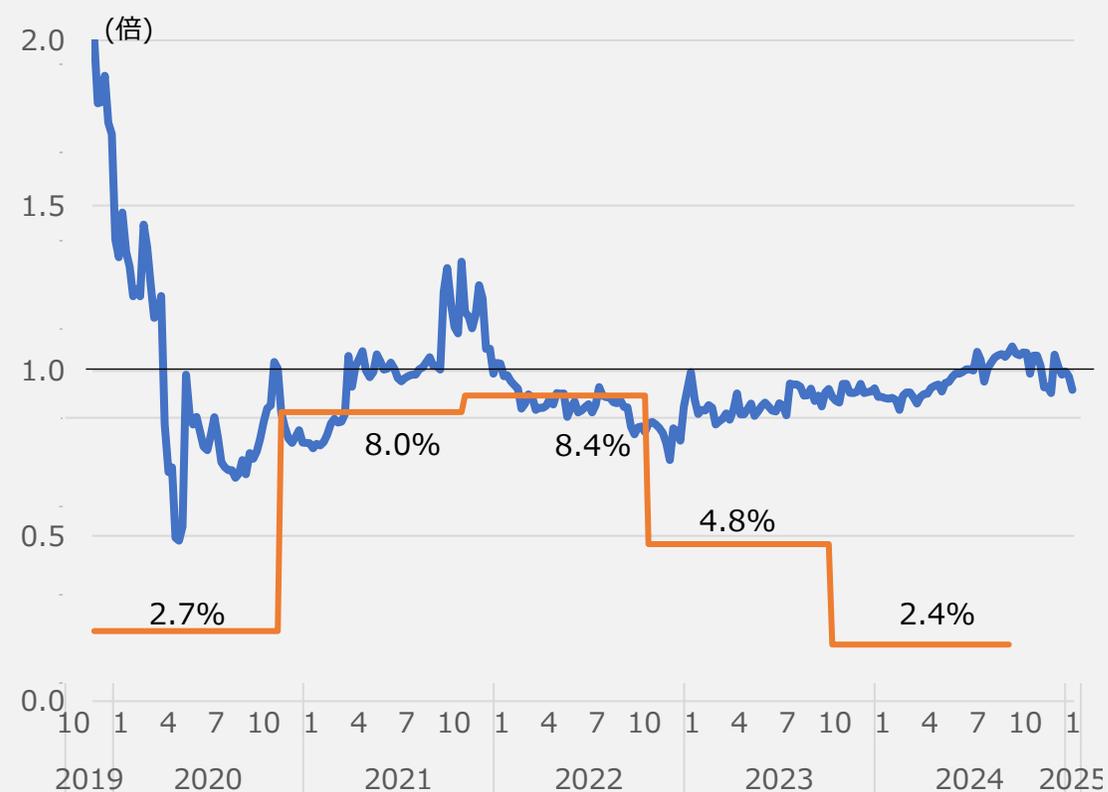
## トピックス4：資本コストや株価を意識した経営（アップデート）

- 直近は再びPBRが低下。市場からの評価は改善基調との認識ながら、期待値が高まっていないことがその原因と認識
- 今後は新增改築案件の獲得に加え、成長領域の拡大により業績のボラティリティ抑制を急ぐとともに、引続きキャッシュの積極活用やコーポレート・ガバナンス強化などによる資本コスト引下げ努力を推進

### 企業価値の推移



### PBRとROEの推移





# 業績・財務ハイライト

決算年月		2020年9月	2021年9月期	2022年9月期	2023年9月期	2024年9月期	2025年9月期 1Q
売上高	(千円)	21,996,890	26,347,156	29,767,431	26,632,145	19,804,248	3,171,222
経常利益	(千円)	207,244	595,939	709,660	431,662	181,146	▲234,790
親会社株主に帰属する当期純利益	(千円)	120,839	390,983	437,051	271,306	136,057	▲164,023
包括利益	(千円)	141,111	427,266	462,709	294,367	112,733	▲156,481
資本金	(千円)	536,169	539,369	539,369	539,369	542,869	542,969
発行済株式総数(自己株式を含む)	(株)	1,954,400	1,960,800	1,960,800	1,960,800	1,967,800	5,904,000
純資産額	(千円)	4,817,569	5,159,691	5,537,971	5,724,103	5,741,300	5,480,633
総資産額	(千円)	13,414,303	12,964,840	13,468,183	14,693,938	10,659,647	9,430,647
1株当たり純資産額*	(円)	802.93	855.78	915.42	946.33	943.51	899.17
1株当たり配当額	(円)	45.0	40.0	50.0	50.0	50.0	-
1株当たり当期純利益*	(円)	20.84	66.64	74.30	46.12	23.09	▲27.78
潜在株式調整後1株当たり 当期純利益*	(円)	20.62	66.11	73.84	45.84	22.96	-
自己資本比率	(%)	35.1	38.8	40.0	37.9	52.3	56.3
自己資本利益率	(%)	2.7	8.0	8.4	5.0	2.4	▲3.0
配当性向	(%)	72.0	20.0	22.4	36.1	72.2	-
営業活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲1,906,273	1,298,076	242,357	341,555	33,083	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	▲63,598	▲42,129	▲49,958	▲82,011	100,752	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	(千円)	238,372	▲298,007	▲120,931	▲202,311	▲97,225	-
現金及び現金同等物の期末残高	(千円)	4,430,782	5,388,721	5,460,189	5,517,421	5,554,031	5,122,919
従業員数	(人)	157	162	175	176	170	162
(外、平均臨時雇用者数)	(人)	(54)	(58)	(62)	(62)	(62)	(60)

\*2024年10月1日付株式分割(1:3)の影響考慮後



## ご留意事項

当資料は、当社の現状をご理解いただくことを目的として作成したものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。当資料に記載されている内容は、当資料発表日現在において当社が入手している情報及び合理的であると判断される一定の前提に基づく計画、期待、判断を根拠としております。したがって、実際の業績等は、経済情勢等様々な不確定要素の変動によって、記載の業績予想等と異なる結果になる可能性があります。実際に投資を行う際のご決定は、必ず投資家ご自身の判断に基づきなされるようお願いいたします。

株式会社レオクラン  
経営企画室 IR担当  
TEL : 06-6387-1554  
Email : ir-support@leoclan.co.jp